



福岡医発第 788 号 (総)
令和 4 年 6 月 15 日

各 医 師 会 長 殿

公益社団法人福岡県医師会
会 長 蓮 澤 浩 明
(公 印 省 略)

日本医師会「健康食品安全情報システム」事業について
(報告・令和 4 年度その 1)

日本医師会「健康食品安全情報システム」事業につきまして、この度、新たに 1 件の情報について判定が行われた旨、日本医師会より別添のとおり報告がありましたので、過去の事例の判定結果と併せてお知らせいたします。

日本医師会では、患者さんからの相談や日常の診療から知り得た健康食品による健康被害に関する情報を会員からご提供いただき、日本医師会において審議し対応策をまとめて還元し、診療にお役立て頂くとともに、国民に対する周知・啓発活動が行われております。

つきましては、健康食品による健康被害と疑われる同様の事例の発生等がありましたら、日本医師会地域医療課 (TEL 03-3942-6137 FAX 03-3946-2140 健康食品安全情報システム担当) まで情報提供いただきますよう会員への周知方ご高配賜りますようお願い申し上げます。

なお、「健康食品安全情報システム」の内容や判定結果は、日本医師会ホームページメンバーズルームにも掲載されておりますことを申し添えます。

小郡三井医師会より

医療安全管理担当理事 田中英二
会長 島田昇二郎

日医発第 501 号（地域）
令和 4 年 6 月 9 日

都道府県医師会
担 当 理 事 殿

日本医師会常任理事
神 村 裕 子
（公 印 省 略）

日本医師会「健康食品安全情報システム」事業について（報告・令和4年度その1）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本会「健康食品安全情報システム」事業については、平成 24 年 11 月 19 日付日医発第 794 号（地 I 161）の文書をもって、貴会にご案内申し上げております。

今般、本事業につきまして、会内「健康食品安全対策委員会」において1件の情報提供に関する判定が行われましたので、ご報告いたします。

今般、本事業につきまして、会内「健康食品安全情報システム委員会」において1件の情報提供に関する判定が行われましたので、ご報告いたします。詳細につきましては、下記の専用サイトに掲載しておりますので、ご了知の程よろしくお願い申し上げます。また、本会ホームページのメンバーズルームにも情報を掲載しております。

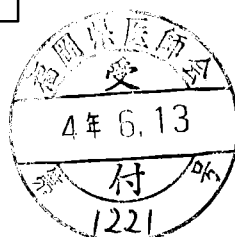
貴会におかれましては、今後とも、本事業へのご協力につき、よろしくお願い申し上げますとともに、貴会会員より、同様の事例の発生等の報告がありましたら、本会地域医療課宛（FAX 03-3946-2140 TEL 03-3942-6137 健康食品安全情報システム担当）にご連絡いただければ幸甚に存じます。

「健康食品安全情報システム」事業 都道府県医師会向けサイト

<http://www.med.or.jp/pshoku/index.html>

ID 9999 パスワード master

※ 恐れ入りますが、IDやパスワードを第三者に知らせることがないよう、お願いいたします。
また、メンバーズルームには、会員向け情報を掲載しています。



日本医師会「健康食品安全情報システム」事業 事例一覧(令和4年6月8日現在)

- 1)この判定結果は、当該食品と健康被害との因果関係を断定するものではありません。
 2)判定は、各情報(受付番号)ごとに行います。各情報中の個々の成分について行うものではありません。
 3)用語の改訂を行い、20170003より反映されております。改定された用語は括弧で区別しております。

都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の 関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・ 転帰	委員会による判定	
										判定実施日	判定結果
岡山県	20210001	2022/3/28	1.男性	確認中	大麦若葉粉末、還元麦芽糖水飴、乳酸菌(乳成分を含む)、ビタミンC	油浸漬にんにく(生にんにく、中鎖脂肪(MCT)、ゼラチン、グリセリン	2.(不明)	4.(重篤)	2.(軽快・寛解)	2022/6/8	レベル2 (要観察)
長野県	20200005	2021/1/25	1.男性	71	大麦若葉粉末、還元麦芽糖水飴、乳酸菌(乳成分を含む)、ビタミンC	全身に発疹、発熱	4.(医学的に推定)	3.(中等度)	2.(軽快・寛解)	2021/3/8	レベル3 (要監視)
愛知県	20200004	2020/12/16	1.男性	46	リコピン27.8mg、DHA275mg、EPA25mg、ゼラチン、ミソロウ他	蕁麻疹	5.(医学的に強く推定)	3.(中等度)	1.(回復)	2021/1/29	レベル2 (要観察)
埼玉県	20200003	2020/10/15	2.女性	70代前半	ブエリリア・ミリフィカ、ビール酵母、アルファリボ酸、フラクトオリゴ糖、コーンスターチ、ゼラチン他	不正性器出血、子宮体癌	4.(医学的に推定)	4.(重篤)	5.(その他)	2021/1/29	レベル4 (注意喚起)
島根県	20200002	2020/9/12	2.女性	60	田七人参末、高麗人参粉末、マヌカハニー、ジンゼンベリーエキス末、アガベインリン、菊芋粉末、デキストリン、サンシュユ末、醗酵紅参エキス末、乾燥ローヤルゼリー、コラーゲンペプチド、穀物麴、納豆菌エキス末、乳酸菌混合末、乳糖他	薬物アレルギー(蕁麻疹)	4.(医学的に推定)	2.(軽微)	2.(軽快・寛解)	2021/1/29	レベル2 (要観察)
大阪府	20200001	2020/5/22	2.女性	40代後半	田七人参末、高麗人参末、難消化性デキストリン、醗酵紅参エキス末、オタネ人参果実粉末、アマチャズルエキス末、抹茶、マヌカはちみつ/結晶セルロース他	下痢・嘔吐	4.(医学的に推定)	2.(軽微)	1.(回復)	2020/5/27	レベル2 (要観察)
兵庫県	20190005	2019/11/25	2.女性	40代	田七人参末、高麗人参末、醗酵紅参エキス末、オタネ人参果実粉末、アマチャズル抽出物、抹茶、マヌカはちみつ/結晶セルロース、ヒマワリレシチン、(一部に乳成分を含む)	便秘	3.(関連性が否定できない)	2.(軽微)	1.(回復)	2019/11/28	レベル3 (要監視)
熊本県	20190004	2019/11/21	2.女性	40代後半	びわの種の粉末 1g/包	吐き気、嘔吐、気分不良	3.(関連性が否定できない)	3.(中等度)	1.(回復)	2019/11/28	レベル4 (注意喚起)
東京都	20190003	2019/5/8	2.女性	40代前半	ハチ花粉(スペイン原産)。花粉の種類はワイルドフラワー(シスタス、ヒナゲシ、オオバコ、ユーカリ、ラベンダー等)	アレルギー(疑)舐めてから5分程でヒューヒューと息苦しくなり、吐き出したら30分~1時間程で元に戻った。	3.(関連性が否定できない)	2.(軽微)	1.(回復)	2019/6/13	レベル4 (注意喚起)
熊本県	20190002	2019/3/18	2.女性	70代前半	にんにく、卵黄	術中の易出血性、術後のドレーン刺入部付近の血腫	3.(関連性が否定できない)	3.(中等度)	2.(軽快・寛解)	2019/3/22	レベル2 (要観察)
神奈川県	20190001	2019/2/13	2.女性	60代前半	ロイシンを主とするアミノ酸、甘味料、ビタミンD他	肝機能障害	3.(関連性が否定できない)	3.(中等度)	1.(回復)	2019/3/22	レベル2 (要観察)
埼玉県	20180003	2018/12/12	2.女性	70代前半	ブエリリア・ミリフィカ他	不正性器出血	5.(医学的に強く推定)	2.(軽微)	1.(回復)	2019/3/22	レベル4 (注意喚起)
愛知県	20180002	2018/8/17	2.女性	70代前半	サジー、ステビア	掻痒	4.(医学的に推定)	1.(その他)	1.(回復)	2018/12/21	レベル1 (要保存)
愛知県	20180001	2018/4/28	2.女性	70代前半	ローヤルゼリー粉末(詳細確認中)	肩こり・歯肉痛・顔面神経麻痺	-	-	-	-	判定保留
神奈川県	20170005	2018/3/31	2.女性	70代後半	62種類の成分を含むとする健康食品3種類	高度脂肪肝	4.(医学的に推定)	4.(重篤)	2.(軽快・寛解)	2018/5/31	レベル4 (注意喚起)
広島県	20170004	2018/1/18	2.女性	50代後半	※異物混入疑い(健康食品に甲状腺ホルモン混入疑い)	-	-	-	-	-	判定保留
埼玉県	20170003	2017/12/28	2.女性	60代前半	米酢・リンゴ酢・柿酢・梅酢	右胸部の異常知覚、右足の筋力低下(急速進行)。医大にて視神経脊髄炎と診断	2.(不明)	4.(重篤)	2.(軽快・寛解)	2018/3/8	レベル2 (要観察)

										委員会による判定	
都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の 関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・ 転帰	判定実施日	判定結果
岡山県	20170002	2017/10/23	2.女性	80	グルコサミン	全身に2-3cm大の紅色斑の多発	4.医学的に推定	1.その他	1.回復	2018/3/8	レベル3 (要監視)
福岡県	20170001	2017/4/6	2.女性	74	ボルトジンユ(南米原産ハーブ・ネットモールの園芸店販売HPにて効能記載あり)	薬物性肝障害	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2017/6/15	レベル4 (注意喚起)
岩手県	20160004	2017/2/21	2.女性	65	蛸殻加工食品、アセロラ加工食品、植物濃縮物加工食品	肝機能悪化	2.不明	1.その他	1.回復	2017/6/15	レベル1 (要保存)
愛知県	20160003	2016/07/12	1.男性	34	青黛(indigo naturalisなど)	大腸内視鏡で盲腸の異常血管増生像あり。症状はないが、他医の報告と合わせて右側結腸炎と考える。	4.医学的に推定	4.重大な症状	3.未回復	2016/11/2	レベル4 (注意喚起)
愛知県	20160002	2016/6/10	2.女性	48	プロテイン(人工甘味料・VC・亜鉛)、MSM、ヘム鉄、サプリ(ブラセンタ・CoQ10・エラスチン・コラーゲン・コンドロイチン)	アトピー性皮膚炎の悪化・急激な体重減少・米小麦アレルギーがないのに除去を行っている。	3.医学的に疑い	3.全身的症状	1.回復	2016/6/22	レベル4 (注意喚起)
東京都	20160001	2016/5/23	2.女性	26	アサイー、クエン酸(酸化防止剤)	腹部・背部の多形紅斑	3.医学的に疑い	3.全身的症状	1.回復	2016/6/22	レベル4 (注意喚起)
愛知県	20150005	2016/02/20	2.女性	41	玄米胚芽・表皮、玄米、麹菌、貝カルシウム、スピルリナ 玄米胚芽・表皮、玄米、麹菌、貝カルシウム	湿疹、じんま疹、肝機能異常	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2016/5/10	レベル3 (要監視)
愛知県	20150004	2016/02/19	2.女性	69	大麦若葉末、ぶどう糖 ビルベリー・カシス・ルテイン・アスタキサンチン・メグスリノキ 野草	顔面、両手、両上肢、腹部、両下肢の紅斑、皮疹、そう痒	4.医学的に推定	2.局所的症状	2.軽快	2016/5/10	レベル4 (注意喚起)
東京都	20150003	2016/02/10	1.男性	56	台湾の花連産の黄金しじみ	ワーファリン服用中だが、2013年7月頃からPT-INRの値が不安定となっており、ワーファリンの増量が急に必要となった。 半年前から当該商品を飲み始めており、その影響が疑われたため中止したところ、PT-INRの値は安定した。 製造販売業者に問い合わせたところ、当該商品2粒当たりVK(フィロキノン)を0.15μg含有しているとの回答あり。	4.医学的に推定	1.その他	1.回復	2016/5/10	レベル4 (注意喚起)
愛知県	20150002	2016/02/09	2.女性	67	黒酢		2.不明	未記入	5.その他	2016/04/06	不実施
石川県	20150001	2015/04/17	2.女性	65	麹菌培養エキス、パパイア、有胞子性乳酸菌	製品を飲んだところ、かゆみを伴った皮疹が両大腿部と上肢に出現、やめたら出なくなった。まさかと思い、再度飲んだところ再び皮疹が出現した。	4.医学的に推定	2.局所的症状	2.軽快	2015/4/23	レベル4 (注意喚起)
愛知県	20140003	2014/12/19	2.女性	61	サメ軟骨抽出粉末(コンドロイチン・Ⅱ型コラーゲン含有)、グルコサミン(カニ・エビ由来)、セルロース、ショ糖脂肪酸エステル、酵素処理ルチン、酸化ケイ素、光沢剤	顔面手足の紅斑、浮腫 全身のそう痒	4.医学的に推定	4.重大な症状	2.軽快	2015/4/23	レベル4 (注意喚起)
神奈川県	20140002	2014/12/16	2.女性	15	リボフラビン酪酸エステル(ビタミンB2酪酸エステル)、ピリドキシン塩酸塩、アスコリビン酸、L-システイン、ヨクイニンエキス、ニコチン酸アミド、ビオチン、添加物	発熱 MAX39.6℃	2.不明	1.その他	1.回復	2015/02/05	判定保留
広島県	20140001	2014/12/16	3.不明	61	オルチニン	11/14 特定健診でAST46,ALT71, γ-GTP178,HBsAG(-),HCV(-),アルコール歴なし、オルチニンを中止し、11/25 AST18,ALT17,γ-GTP82	2.不明	1.その他	1.回復	2015/02/05	レベル1 (要保存)

都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の 関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・ 転帰	委員会による判定	
										判定実施日	判定結果
東京都	20130009	2014/1/20	2.女性	73	ロイヤルゼリー グルコサミン フルスルチアミン、ビタミンB6、ビタミンB12、ビタミンE 穀物麹 ごま酢 桑の葉 コエンザイムQ10 カルシウム うなぎ肝臓 ビタミン類	大量腹水、黄疸(軽度)、急性肝不全(非昏睡型)、肝類洞閉塞症候群、肝生検未施行ですがエコーCT、MR施行。	無記入	4.重大な症状	3.未回復	2014/1/30	不実施
未記入	20130008	2014/1/9	2.女性	90	グルコサミン、軟骨抽出物、発酵コラーゲン分解物	H25/9/14 定期血液検査でγ-GT45と上昇あり。9/20受診時にサプリメント中止を指示していた。サプリメント内服開始(H25/6)～10月まで自覚、他覚症状は著変なし。11月体調不良で緊急入院となり、現在フィッシャー症候群として他院入院中のようにです。	2.不明	3.全身的症状	2.軽快	2014/1/30	レベル2 (要観察)
栃木県	20130007	2014/1/6	2.女性	67	ローズヒップ抽出物(ビタミンC1500mg バイオフラボノイド150mg ローズヒップ抽出物(マルチビタミン、ミネラル) アスタキサンチン(海洋生物に存在する色素、カロテノイドの一種)、ビタミンE、ビタミンC)	2013年9月中旬より3種類のサプリメントを飲み始めた。10月中旬より左第2指、4指に腫脹や疼痛が出現した。症状が続いたため、10月下旬にサプリメントを中止したところ、軽快した。	3.医学的に疑い	2.局所的症状	2.軽快	2014/1/30	レベル3 (要監視)
滋賀県	20130006	2013/11/15	2.女性	46	プロポリス、分離大豆たんぱく、蜂蜜、アーモンドフレーバー、セルロース、リン酸Ca、微粒酸化ケイ みつばち花粉、蜂蜜、セルロース 分離大豆たんぱく、果糖、アミノゲン、大豆油、亜鉛酵母、セレン酵母、アロエベラ、レシチン(大豆由来)、クロム酵母、ビール酵母、スピルリナ、イヌリン、リン酸Ca、香料、リン酸Na、ナイアシ、パントテン酸Ca、葉酸、ビタミン(A、B1、B2、B6、B12、C、D)、増粘剤(グアーガム)、甘味料(スクラロース、ステビア) アロエベラジェル、イソマルトオリゴ糖、レモン・ライム、クエン酸、酸化防止剤(VC、VE)	10/17よりサプリメント服用開始。10/31両掌皮膚炎があり中止。両掌指間、手掌に小水泡を認め、その後落屑、発赤、かゆみは少ない。	4.医学的に推定	2.局所的症状	2.軽快	2014/1/30	レベル3 (要監視)
愛知県	20130005	2013/10/03	2.女性	60	コエンザイムQ10	閉経後の不正出血、これまでに複数経験した報告ですから、上記身長体重などの数値は例です。	4.医学的に推定	1.その他	6.未記入	2014/1/30	不実施
熊本県	20130004	2013/10/15	2.女性	70	黒酢濃縮粉末	胃粘膜病変(黒酢によると思われる胃炎)	4.医学的に推定	2.局所的症状	6.未記入	2014/1/30	不実施
兵庫県	20130003	2013/09/24	2.女性	74	コエンザイムQ10	平成25年2月26日より、コエンザイムQ10を服用し始め、3月下旬より下痢が出現し、続くため、5月11日に血液検査を行ったところ、GOT452μ/l、GPT992μ/lに異常高値を認め、同剤の服用中止を指示、同剤による肝障害と診断。	4.医学的に推定	1.その他	2.軽快	2013/10/31	レベル4 (注意喚起)
埼玉県	20130002	2013/09/16	3.不明	84	クマザサ 昆布 サンゴカルシウム 乳酸菌 サメ軟骨 ビタミンB1、2、6	薬疹、手足(発赤、水泡を伴う疹多発)を中心に、顔、耳、体に発赤	3.医学的に疑い	3.全身的症状	2.軽快	2013/10/31	レベル4 (注意喚起)
兵庫県	20130001	2013/09/13	2.女性	78	ヒアルロン酸含有鶏冠抽出物、ビタミンD	高カルシウム血症による歩行障害(血清カルシウム 12.6)	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2013/10/31	レベル4 (注意喚起)
兵庫県	20120005	2013/01/19	2.女性	80	コラーゲンペプチド、乳糖、グルコサミン、セルロース、ショ糖エステル	肝機能障害、下腿浮腫、GOT323 GPT319 γ-GTP243と上昇。9月14日に同健康食品を中止することにより、肝機能は改善された。	4.医学的に推定	4.重大な症状	1.回復	2013/01/23	レベル4 (注意喚起)
東京都	20120004	2012/11/14	1.男性	84	DHA300mg、EPA100mg、セサミン10mg、その他	間質性肺炎(慢性)、労作時息切れ(平成24年8月頃から)	2.不明	1.その他	3.未回復	2012/11/14	レベル1 (要保存)

										委員会による判定	
都道府県	受付番号	受付年月日	性別	年齢	主な成分・量	症状・異常所見・診断名等	症状等と食品の関連性のエビデンス	重篤度	治療の経過・転帰	判定実施日	判定結果
三重県	20120003	2012/11/09	2.女性	70	グルコサミン	1/26 GOT 18 ,GPT 15 7/11 GOT154 GPT 206急激な肝機能異常で問い合わせた。 7/23 GOT 257 GPT 265	3.医学的に疑い	3.全身的症状	1.回復	2012/11/14	レベル3 (要監視)
石川県	20120002	2012/08/06	2.女性	60	天然ハスカップエキス、ブドウ種子エキス、モロヘイヤ、ビタミン類	胆汁うっ滞型肝障害	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2012/11/14	レベル3 (要監視)
愛媛県	20120001	2012/10/31	2.女性	68	不明(一般的には、青汁は、ケール、大麦若葉ないし明日葉など)	平成17年頃から(顔以外)頭～体全体の発疹がでてかゆみがある。じんましん	2.不明	1.その他	2.軽快	2012/11/14	レベル1 (要保存)
愛媛県	20110006	2011/11/24	2.女性	48	還元麦芽糖水飴、難消化性デキストリン、大麦若葉粉末、ゴーヤー粉末、ケール末、ビタミンC、ビタミンB群、ナイアシン、葉酸、甘味料	全身のかゆみ	2.不明	1.その他	2.軽快	2011/12/01	レベル1 (要保存)
茨城県	20110005	2011/06/13	1.男性	50	クルクミン、秋ウコン末、春ウコン末	胃部不快、黄疸(T-Bil 24.72 D-Bil 17.91)、劇症肝炎(PT 34.2%)、AST1906 ALT2418	5.医学的検証済み	4.重大な症状	3.未回復	2011/09/29	レベル5(警告・禁止)
栃木県	20110004	2011/06/02	2.女性	62	アサイーエキス末、グレープシードオイル、オリーブ油、ミツロウ、グリセリン脂肪酸エステル	2010年4月ごろよりアサイーを摂取した折、4月より肝機能の上昇あり。12月27日にはAST/ALT 45/81まで上昇した。3月22日診察時にアサイーの中止を勧め、中止したところ、徐々に肝機能の回復あり。ASTは正常、ALTは43まで低下した。この間、当院からの処方内容に変化ない。経過より、アサイーによる肝機能障害と診断した。	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2011/09/29	レベル3 (要監視)
静岡県	20110003	2011/05/17	2.女性	67	グルコサミン塩酸塩、鮫軟骨抽出物、コラーゲン	尿所見:混濁、雲翳(nubecula)。摂取をやめたら正常に戻った。尿蛋白(++)、沈査(nubecula)クレアチン高め、現在は正常範囲。	3.医学的に疑い	1.その他	1.回復	2011/05/20	レベル3 (要監視)
福岡県	20110002	2011/04/26	2.女性	32	独自ブレンド、ゼラチン他 ボロン(トリボロンコンプレックス)、ライスフラワー、ゼラチン フェヌグreekシード、ゼラチン	毎年乳がん検診を受けて、昨年まで異常なしであったのに、豊胸を効果にあげて販売されるサプリを服用したところ、右胸が痛くなり、6ヵ月後に6cm大の進行乳がんと診断を受けた。	2.不明	1.その他	3.未回復	2011/05/20	レベル3 (要監視)
愛知県	20110001	2011/04/11	1.男性	83	ヒアルロン酸	●●を2錠/日飲んだら(9/11～9/18)、新鮮血を下血した。水様体の下痢も認めた。	2.不明	2.局所的症状	2.軽快	2011/05/20	レベル2 (要観察)
青森県	20100002	2010/10/29	1.男性	63	シャークリバーオイル他 ビルベリーエキス他	9月22日早朝より発熱(38度)と心窩部痛あり。当院受診にて診察、精査を施行。生化学検査で肝機能障害あり、内服薬及びサプリメントを中止させる。	3.医学的に疑い	3.全身的症状	2.軽快	2011/02/23	レベル3 (要監視)
福島県	20100001	2010/04/06	2.女性	61	茶	約3ヶ月間、内服を中止したことにより、血糖値の急激な上昇。4ヶ月間受診なし。	1.関連なし	1.その他	6.未記入	2011/02/23	レベル1 (要保存)